

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 20 No 11

232号

平成24年11月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

赤ちゃんすこやかセミナー

院長

10月20日は講演のため午後休診となり、皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫びのしるしとして、講演会の模様を紹介します。

講演は母子衛生研究会が主催する、「プレパパ・ママのための赤ちゃんすこやかセミナー」でした。このセミナーは、全国各地で開催され、妊娠中のお母さんと家族を対象にしたものです。

セミナーの講演1は、愛育病院の中林正雄院長による「はじめての出産をむかえるあなたへ」。中林先生は、とても高名な先生で、秋篠宮文仁親王のお子様3人をとりあげられたことでも有名です。

講演2は、院長担当の「もうすぐデビュー☆ワクチンのキホン」です。皆さんの記憶を呼び起こしてみてください。妊娠中から、産まれてくる赤ちゃんのためにワクチンの勉強はしなかったと思います。正直に言えば、この時期はワクチンなんかに興味は無いのが普通です。だからこそ、興味のない人たちへの講演は難しいのです。いつもはワクチン接種が目の前に迫った保護者や医療従事者ですから、必要に迫られているので興味を持ってもらえるのです。もうひとつ難しい部分は、知識のない参加者の真っ白なキャンバスに、どのようにワクチンという色を塗るかが大切で、責任の重さを感じて、いつもと違う意味でプレッシャーを感じながらの準備でした。

会場は「AER」の21階TKPガーデンシティ仙台で、横長の会場のためスライドを2面設置しました。まったく知識のない参加者に対してのセミナーなので、いつもよりわかりやすい講演を目指しました。興味を持ってもらえるかどうかの勝負は、講師の語り口と最初のスライドにかかっています。最初のインパクトはとても重要なので、オープニングにも凝ってみました。さらには、参加者と掛け合いをしながらの、インタラクティブなセミナーにしようと考えました。最初のスライドで驚かせて、続いては講演のKey Wordを示したあと、蓮舫大臣とのツーショット



トをいきなり見せつけました。ツーショットは、「この先生は有名?」、「どうして大臣とのツーショット?」と思わせて、参加者の意識を講師に引きつけるためです。

講演時間は50分で、初めてワクチンのことを学ぶための基礎的な話です。内容は、「ワクチン・デビュー」、「ワクチンと予防接種」、「ワクチンで予防できる病気」、「免疫とワクチン」、「予防接種の副反応」、「予防接種スケジュール」、「ワクチン同時接種」、「かかりつけ医をみつけよう」です。

オープニングのスライドは、アニメーションを駆使し、円盤が飛び回ったあとに、円盤から凧凧ちゃんがでてくるというものです。続いては一般的に誤解されていることを、疑問として紹介しました。「ワクチンと予防接種の違い」、「赤ちゃんは病気にならないって聞いたけど」、「2ヶ月から大丈夫なの」、「同時接種って安全なの」、「ワクチンより病気にかかった方がいいのでは」など、ここでも大きな興味を引くことができました。スライドの切り替えをトランジションと呼ぶのですが、トランジションを工夫しただけでなく、YouTubeの「ワクチン同時接種」や「ロタウイルスワクチン同時接種」動画、アニメーションを多く使って、面白くわかりやすい話を心がけました。



講演の中で、最も時間をかけたのは免疫のしくみと副反応です。とくに副反応に関しては、日本脳炎ワクチン接種直後に亡くなったお子さんを例に挙げ、さまざまな角度から解説しました。

さまざまな仕掛けのスライドに熱心に目を向けていただけでなく、時折の冗談にも笑いがこぼれ、いい雰囲気で行いました。さらに参加者を驚かせたのは、手放しでパソコンを操作していたことでした。MacのプレゼンテーションソフトをiPhoneを使って操作していると種明かしをした途端、会場内に大きなどよめき起きたことは言うまでもありません。最後は質疑応答の時間でしたが、ワクチンの質問だけでなく、RS感染症の質問もあり、参加者のモチベーションが高い印象を受けました。



準備に多くの時間を費やしましたが、皆さん熱心に聞き入り、真面目にメモを取り、笑いや驚きもあり、満足して頂いたようです。最初に目指した参加者とのインタラクティブな言葉のキャッチボールもでき、演者としても充実して満足できたセミナーでした。ご参加の皆さん、そして休診で迷惑を掛けた患者さん、あ

準備に多くの時間を費やしましたが、皆さん熱心に聞き入り、真面目にメモを取り、笑いや驚きもあり、満足して頂いたようです。最初に目指した参加者とのインタラクティブな言葉のキャッチボールもでき、演者としても充実して満足できたセミナーでした。ご参加の皆さん、そして休診で迷惑を掛けた患者さん、あ

11月のお知らせ

- ・栄養育児相談 14日、28日(水)
13:30～ 栄養士担当 無料
栄養士担当 参加無料
- ・学生実習 9日(金)
ご迷惑を御掛けしますが、
ご協力をお願いします。

『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月はかなりメールが少なく、わずか4通のメールでした。今回は医療相談ばかりなので、プライバシーを考え、あえて紹介はしないことにしました。

一面記事にワクチンのことを載せたので、少しワクチンの副反応のことについて考えてみましょう。ちょうど日本脳炎ワクチン直後に死亡したお子さんのニュースが駆け巡っていました。皆さんもご存知と思いますが、次のような内容です。「<日本脳炎>予防接種後に小5男児急死 岐阜・美濃 毎日新聞 10月18日(木):17日午後5時15分ごろ、岐阜県美濃市藍川の「〇〇こどもクリニック」で、日本脳炎の予防接種を受けた同県関市の小学5年生の男児(10)が約5分後に意識不明、心肺停止状態になり、約2時間後に搬送先の病院で死亡が確認された。県警関署が死因を調べている。」

その後、31日に開催された厚生科学審議会(厚生労働相の諮問機関)予防接種部会小委員会では「現時点で接種の中止は必要ない」との結論が出されました。共同通信社から、今回の件についての電話取材がありました。因果関係には触れませんでした。同日の東京新聞夕刊に「仙台市青葉区のかわむらこどもクリニックでは、岐阜県の男児(10)の死亡例が報じられた今月中旬以降、接種予約の半数近くがキャンセルとなった。川村和久院長は「因果関係の有無を百パーセント医学的に証明するのは難しい。だからこそ、いま分かっている事実を医療従事者が保護者に正しく伝えられるよう、国は把握した情報を、いち早く臨床現場に教えてほしい」と訴えた。」と掲載されました。

また不活化ポリオワクチン後に死亡死亡した例があることもニュースに流れました。これは、次のような内容です。「ポリオ:不活化ワクチン接種後に死亡例 毎日新聞 2012年10月24日:」厚生労働省は24日、ポリオ(小児まひ)予防のため不活化ワクチン接種を受けた乳児の死亡例が報告されたと明らかにした。安全性を高めるため、毒性をなくしたウイルスからつくった不活化ワクチンは9月1日に導入されたばかりで、死亡例の報告は初めて。厚労省によると、死亡したのは生後6カ月以上1歳未満の女児で、9月上旬に接種を受けた。18日後に鼻血を出して嘔吐(おうと)し、搬送先の病院で翌日、低酸素脳症のため死亡した。」

確かに、このようなケースが続くと、皆さんは予防接種の副反応と思うかもしれません。まして、マスコミの報道では、いかにもワクチンと関係がありそうな見出しになっています。正直なところ、ワクチン接種が死亡に直接関係するかどうかを証明することは非常に難しいことです。多くの場合偶発的な死亡原因が、ワクチンの時期と重なったと見なすのが普通です。日本脳炎接種後のケースでは、接種から死亡までの時間が短く、どうもカテコラミン感受性多形性心室頻拍(CPVT)という不整脈が原因と推測されています。

確かに予防接種という本来は子どもたちを守るための手段が、死亡ということと関連を疑わせることはとても残念なことです。しかしながら、「もうすぐデビュー☆ワクチンのキホン」でも話しましたが、ワクチンは異物を接種する以上、ある程度の副反応は避けられないことも事実です。予防接種をすることのメリットについて、しっかり考えてみてください。尚、当院では、日本脳炎、不活化ポリオワクチンとも通常通り接種しています。

セミナーで使用したスライドは、YouTube「もうすぐデビュー☆ワクチンのキホン」で見ることができます。ワクチンの必要性、有効性と副反応の理解のために、是非ご覧ください。



四種混合ワクチンに関するお知らせ

11月1日から、四種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風+不活化ポリオ)が定期接種になります。

対象者は、生後3ヶ月以降(8月1日生)の乳児です。不活化ポリオ単独ワクチンが品不足になったこともあり、四種混合ワクチンも不足する可能性があります。

当面の間、三種混合+不活化ポリオワクチン接種を行い、納入量によって四種混合に切り替えます。2回目以降は初回と同じワクチンになります。初回三種混合に関しては、原則ポリオワクチンとの同時接種です。

接種希望の方は、予約ください。問診票は準備してあります。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、400人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog**「子どもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

10月の感染症の集計



相変わらず、水痘おたふくなどは減っています。手足口病が相変わらずです。発熱と咳がひどい気管支炎が多く、喘息も多くなってきました。

編集後記

今回は妊婦さん対象のセミナーを担当しました。このような時期に予防接種に興味を持つことは大切なことです。早期に免疫を付けることはワクチンの重要な要素で、産まれる前からの啓発が必要です。

新聞発行が遅れたのは、月初めのハードスケジュールです。ブログには載せましたが、連休の長野・東京から始まり4日連続の仕事をごなしました。楽になりたい(笑)。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』を新年度から再開します。現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!